

説明文の内容を読み取る

名前

組 番

月 日

正答数

4

ねらい

●書かれていることを正かくに読み取る。

問題

次の文章を読んで、あとの問題に答えましょう。

モグラは、なんのために、トンネルを掘るのでしょうか。また、どんな方法で、えものをとらえているのでしょうか。

わたしは、モグラにあたえるミミズをさがしているうちに、おもしろいことに気づきました。ミミズは、落ち葉の集まった落ち葉だまりで、よくとれます。ぜんぶとっても、ほかから集まってくるので、つぎの日には、またとれます。ところが、おなじ落ち葉だまりでも、ミミズのとれないところもあるのです。そういうところは、落ち葉をどけてみると、下の地面に、モグラのトンネルが、ぽっかり口をあけているのでした。モグラはいりこんで、ミミズをとってしまっていたのです。

モグラは、トンネルを落ち葉だまりにつなげておき、ときどきやってきて、ミミズをとっているにちがいありません。落ち葉だまりは、モグラにとって、狩りの場であり、ミミズを集めるわなでもあるのです。

モグラは、落ち葉だまりのほかにも、狩りの場をもっているようです。ある学者は、モグラのトンネルは、土のなかにすむミミズや虫などをとらえる、一種の落としわなだと考えています。土のなかの虫が動きまわるとき、トンネルに落ちるようになっていくのです。そうだとすると、トンネルも狩りの場だといえるでしょう。

わたしは、モグラが金あみのトンネルのなかで、ミミズをとらえる方法を、観察してみました。もし、モグラが、トンネルを狩りの場にしていないとすれば、モグラは、せまいトンネルのなかで、ミミズなどのえものをうまくとらえる、とくべつな方法を身につけているはずだ。

トンネルにミミズをいれると、モグラは、三〜四センチまでそっとちかづいたあと、ダッシュして、大きく口をあげ、かみつきました。そして、ミミズにかみついたまま、すばやくバックしました。トンネルのなかをひきずられたミミズは、ぐったりと弱ってしまいました。

※注 金あみのトンネル：筆者が実験用に金あみで作った、モグラを飼うためのトンネル。

▼読解のポイント①◆

⑨ だいせい 何について書かれているか(＝話題)をつかむ。

話題は、文章の初めのほうに書いてある。

「モグラは、なんのために、トンネルを掘るのでしょうか。また、どんな方法で、えものをとらえているのでしょうか。」

↓話題は二つ。

- (1) この文章は、二つの疑問^{ぎもん}について書かれています。文章中から二つの文でぬき出しましょう。

--

▼読解のポイント②◆

⑩ だいせい しめされた疑問の答えにあたるところをおさえよう。

！ 一つめの疑問は「トンネル」についてだから、「トンネル」という言葉がたくさん出てくるところに、その答えが書いてある。

！ 二つめの疑問は「えもの」についてだから、「えもの」「ミミズ」という言葉がたくさん出てくるところに、その答えが書いてある。

- (2) 筆者は、落ち葉だまりでどんなことに気がつきましたか。次の□□にあてはまる言葉を、文章中からぬき出しましょう。

モグラの

--

が、落ち葉だまりにつながっていること。

- (3) (2)のことから、どんなことがいえますか。次の□□にあてはまる言葉を、文章中からぬき出しましょう。

落ち葉だまりは、モグラの

--

である。

- (4) とくべつな方法とありますが、それはどんな方法ですか。次の□□にあてはまる言葉を、文章中からぬき出しましょう。

えものにかみついて、そのまま

--

するという方法。

説明文の内容を読み取る



(1) モグラは、なんのために、トンネルを掘るのでしょうか。また、どんな方法で、えものをとらえているのでしょうか。

(2) トンネル
(3) 狩りの場
(4) バック

(1) 疑問は「……か。」と書かれています。初めの二つの文が疑問をしめす文です。

(2) ミミズのとれない落ち葉だまりの下には、モグラのトンネルがあります。

(3) 落ち葉だまりは、えさであるミミズをとる場所、つまり、狩りの場なのです。

(4) 最後の段落に書かれています。

説明文の内容を読み取る

正答数

5

マーク



月 日 年 組 番

名前

次の文章を読んで、下の問題に答えましょう。

生き物は食べなければ生きていけない。私たち人間の生活には「①」すなわち、着るもの、食べもの、それから住む家が必要だが、そのなかでは食べることがいちばん大切である。

寒かったら何か身にまといたいし、火の近くにいればいい。落ち葉かわらにくるまってねていけばいい。雨や風をさけるためには、横あなをほってその中にいれたいわけだ。何も生きるためにダブルのスーツとかネグリジェなどには必要ないし、3LDKとかマイホームも必要ない。②、食べることといったら絶対に不可欠で、他の何かで間に合やすことはできないのだ。食べることは、人間が生きていくための最低限の行いであるから、食べることに限っては、しばしば大きな争いが起こる。だから、人間の争いの根げんをたどれば食べることに引き着く。つまり、食べものを得るために、生ぞん

するためにずーっと争ってきたのだ。人類がたん生してからしばらくの間、極ろんすれば食べることがすべてだった。食べなければ死んでいくので、何でも食べた。人間は食べるために、ものすごい知えを発達させてきた。草や木の実、魚や動物の肉はいうにおよばず、動物の乳まで略だつて飲むようになった。それが牛乳であり、ヤギの乳だ。究極なことをいえば生物まで家畜化してしまった。び生物にいうことを聞かせて、食べものをつくらせることまでしている。それがチーズであり、パンであり、酒であり、みそであり、納豆である。

(小泉武夫「人間はこんなものを食べてきた」——小泉武夫の食文化ワンダーランド」より)

*ネグリジェ：ワンピースの形のパジャマ。

*3LDK：居間・食堂・台所のほかに三つの

部屋がある家の間取り。

*略だつ：無理やりうばい取ること。

(1) ① に入る漢字三字の熟語を書きましよう。

(2) ② に入る言葉を、次から一つ選びましよう。

- 1 なぜなら 2 また 3 だが

〔 〕

(3) ③ 人間の争いの根げんをたどれば食べることに引き着くがありますが、これはどういう意味ですか。次から一つ選びましよう。

- 1 人間は、争わなければ食べものを手に入れない。

- 2 人間の争いは、食べることが原因になって起こる。

- 3 人間の争いは、食べものを分け合うことで解決する。

〔 〕

(4) ④ 人間は食べるために、ものすごい知えを発達させてきたとありますが、このことの例として文章に書かれている内ように合うものを、次から一つ選びましよう。

- 1 び生物を利用して食べものをつくった。

- 2 他の人が飼っている動物の乳をうばった。

- 3 草や木の実を食べずに魚や肉を食べた。

〔 〕

(5) 文章に書かれている筆者の考えに合うものを、次から一つ選びましよう。

- 1 人間はいつも食べることしか考えていない。

- 2 人間は生きるためのせいたくをする。

- 3 人間にとって食べることは何より大切だ。

〔 〕

説明文の内容 ないよう を読み取る	
(1)	衣食住
(2)	3
(3)	2
(4)	1
(5)	3